

# 特定個人情報保護評価書(基礎項目評価書)

評価書番号	評価書名
1	児童生徒を対象とした町独自支援の支給に関する事務 基礎項目評価書

## 個人のプライバシー等の権利利益の保護の宣言

立山町は、児童生徒を対象とした町独自支援の支給に関する事務において特定個人情報ファイルの取扱いにあたり、特定個人情報ファイルの取扱いが個人のプライバシー等の権利利益に影響を及ぼしうることを認識し、特定個人情報の漏えいその他の事態が発生するリスクを軽減させるために適切な措置を講じ、もって個人のプライバシー等の権利利益の保護に取り組んでいることを宣言する。

特記事項

## 評価実施機関名

立山町教育委員会

## 公表日

令和7年6月10日

# I 関連情報

1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務	
①事務の名称	児童生徒を対象とした町独自支援の支給に関する事務
②事務の概要	<p>子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもが意欲をもって学び、成長できる環境を整備することを目的として、児童生徒を対象とした町独自支援の支給を実施するための基礎とする情報の管理を行う。</p> <p>行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年法律第27号。以下「番号利用法」という。)、立山町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例(平成27年条例第23号)及び立山町児童生徒就学支援金支給事業実施要綱(令和7年立山町教育委員会告示第1号)の規定に基づき、次の事務で特定個人情報を取り扱う。</p> <p>(1)就学支援金支給に関する事務</p> <p>【上記事務で取り扱う特定個人情報】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・公的給付支給等口座登録簿関係情報</li></ul>
③システムの名称	中間サーバ
2. 特定個人情報ファイル名	
就学支援金支給に関する事務ファイル	
3. 個人番号の利用	
法令上の根拠	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(番号利用法)(平成25年5月31日法律第27号)第9条第2項 立山町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例 第4条第1項
4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携	
①実施の有無	<p style="text-align: right;">＜選択肢＞</p> <p>[ 実施する ]</p> <p>1) 実施する 2) 実施しない 3) 未定</p>
②法令上の根拠	【情報照会】 番号利用法 第19条第9号 立山町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例 第4条第1項 立山町児童生徒就学支援金支給事業実施要綱 第3条第1項、第4条第1項
5. 評価実施機関における担当部署	
①部署	教育課
②所属長の役職名	教育課長
6. 他の評価実施機関	
7. 特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求	
請求先	立山町 総務課行政係
8. 特定個人情報ファイルの取扱いに関する問合せ	
連絡先	〒930-0292 富山県中新川郡立山町前沢2440 電話番号:076-463-1121(代) FAX番号:076-463-1254

9. 規則第9条第2項の適用

[ ]適用した

適用した理由

## II しきい値判断項目

1. 対象人数	
評価対象の事務の対象人数は何人が	[ 1,000人以上1万人未満 ] <選択肢> 1) 1,000人未満(任意実施) 2) 1,000人以上1万人未満 3) 1万人以上10万人未満 4) 10万人以上30万人未満 5) 30万人以上
いつ時点の計数か	令和7年6月1日 時点
2. 取扱者数	
特定個人情報ファイル取扱者数は500人以上か	[ 500人未満 ] <選択肢> 1) 500人以上 2) 500人未満
いつ時点の計数か	令和7年6月1日 時点
3. 重大事故	
過去1年以内に、評価実施機関において特定個人情報に関する重大事故が発生したか	[ 発生なし ] <選択肢> 1) 発生あり 2) 発生なし

## III しきい値判断結果

しきい値判断結果
基礎項目評価の実施が義務付けられる

## IV リスク対策

1. 提出する特定個人情報保護評価書の種類		
[ 基礎項目評価書 ]		<選択肢> 1) 基礎項目評価書 2) 基礎項目評価書及び重点項目評価書 3) 基礎項目評価書及び全項目評価書  2)又は3)を選択した評価実施機関については、それぞれ重点項目評価書又は全項目評価書において、リスク対策の詳細が記載されている。
2. 特定個人情報の入手(情報提供ネットワークシステムを通じた入手を除く。)		
目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か	[ 十分である ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
3. 特定個人情報の使用		
目的を超えた紐付け、事務に必要なのない情報との紐付けが行われるリスクへの対策は十分か	[ 十分である ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
権限のない者(元職員、アクセス権限のない職員等)によって不正に使用されるリスクへの対策は十分か	[ 十分である ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
4. 特定個人情報ファイルの取扱いの委託		[ <input type="radio"/> ]委託しない
委託先における不正な使用等のリスクへの対策は十分か	[ ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
5. 特定個人情報の提供・移転(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。)		[ <input type="radio"/> ]提供・移転しない
不正な提供・移転が行われるリスクへの対策は十分か	[ ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
6. 情報提供ネットワークシステムとの接続		[ ]接続しない(入手) [ ]接続しない(提供)
目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か	[ 十分である ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
不正な提供が行われるリスクへの対策は十分か	[ 十分である ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている

7. 特定個人情報の保管・消去		
特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策は十分か	[ 十分である ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
8. 人手を介在させる作業 [ ] 人手を介在させる作業はない		
人為的ミスが発生するリスクへの対策は十分か	[ 十分である ]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
判断の根拠	本事務では、「マイナンバー利用事務におけるマイナンバー登録事務に係る横断的なガイドライン」に従いマイナンバーを確認しており、以下のような手作業を介する特定個人情報の取扱い時には複数人で確認を行っているため、人為的ミスが発生するリスクへの対策は「十分である」と考えられる。 ・申請書に記載された個人番号及び本人情報のデータベースへの入力 ・特定個人情報の記載がある申請書等(USBメモリを含む。)の保管 ・個人番号及び本人情報が記載された申請書の廃棄	

